

使用機材:QuantStudio5 (サーモフィッシャー) **実検体 (陽性) の測定**

T社試薬とiDMによるDirect測定の比較

2022/5/16の陽性検体

検体No.	T社試薬 Ct値	iDM-N1 Ct値	iDM-N2 Ct値
24	33.9	31.89	31.53
25	30.6	27.42	27.41
31	20.1	21.19	20.61
35	36.9	33.82	34.83

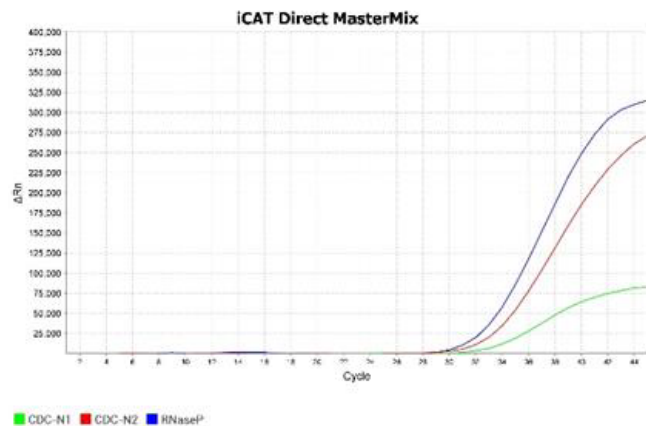
T社試薬はN1、N2を同色のレポータープローブを使用しているため、本来であればCt値が-1 (PCR生成物が2倍) にて測定される計算となる。

高ウイルス濃度の検体(No.31)においては、iDMのDirect測定と比較しそれを裏付ける結果となっているが、低濃度の検体(No.24,25,35)ではiDMのCt値を上回る (感度が悪い) 結果となっており、**iDMが低ウイルス濃度域で高感度**であることがわかる。

※T社試薬は95°C5分の熱処理+試薬投入が必要だがiDMは試薬投入のみ

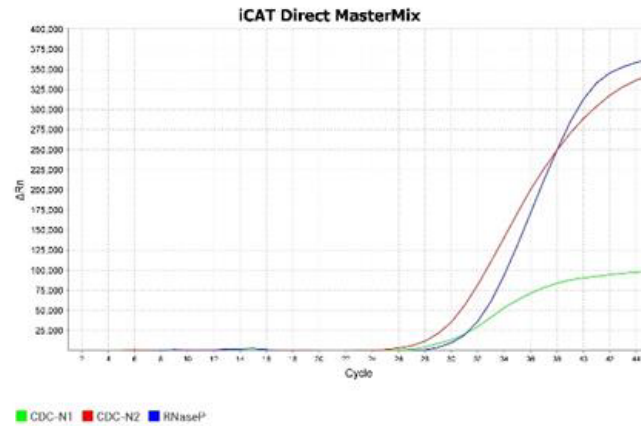
使用機材:QuantStudio5(サーモフィッシャー) **実検体(陽性)の測定**

検体No.24



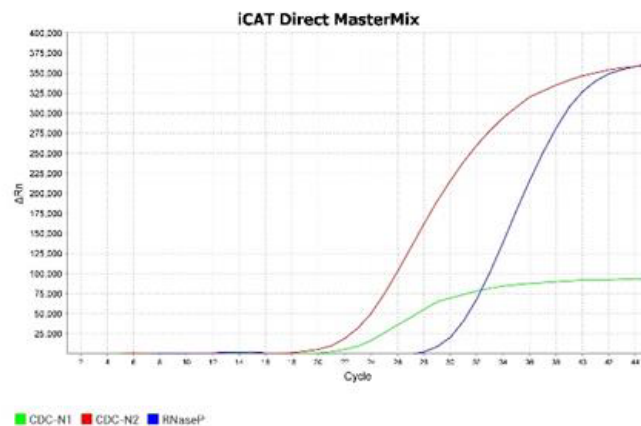
推定ウイルス量
(N1検量)
33,333コピー/mL

検体No.25



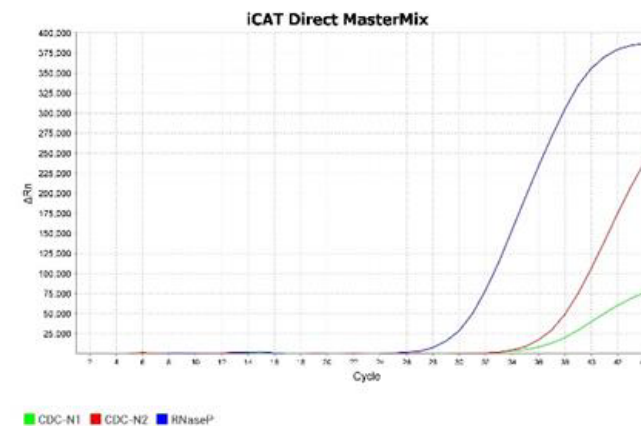
推定ウイルス量
(N1検量)
541,000コピー/mL

検体No.31



推定ウイルス量
(N1検量)
26,485,333コピー/mL

検体No.35



推定ウイルス量
(N1検量)
10,000コピー/mL